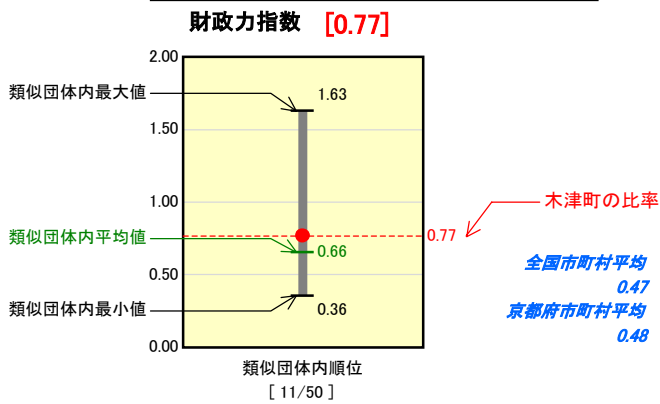


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

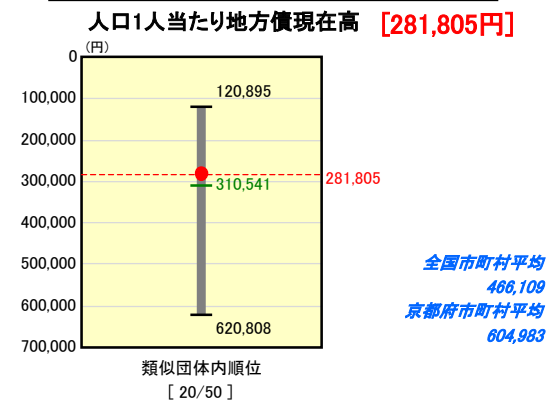
## 京都府 木津町

人口	38,043 人(H17.3.31現在)
面積	23.62 km <sup>2</sup>
歳入総額	12,720,086 千円
歳出総額	12,349,997 千円
実質収支	83,684 千円

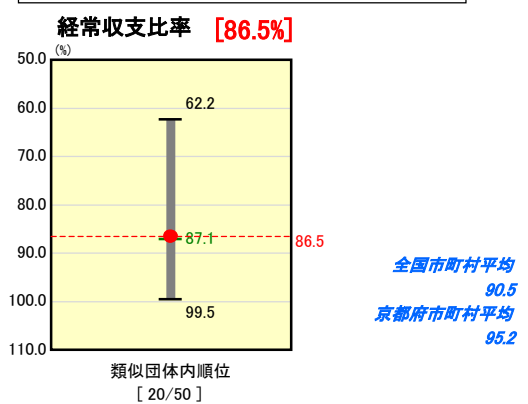
### 財政力



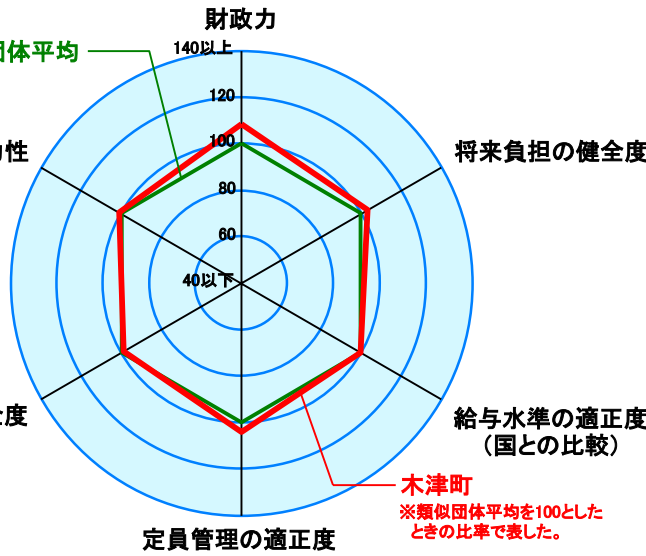
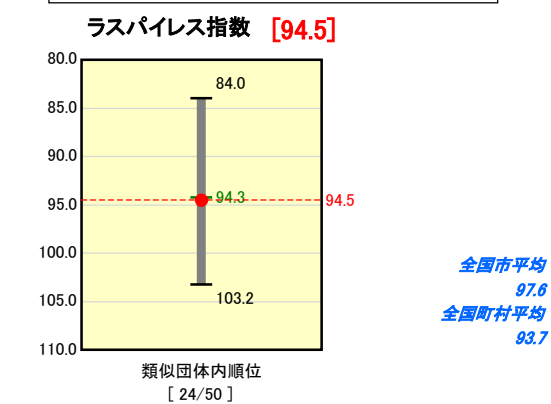
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

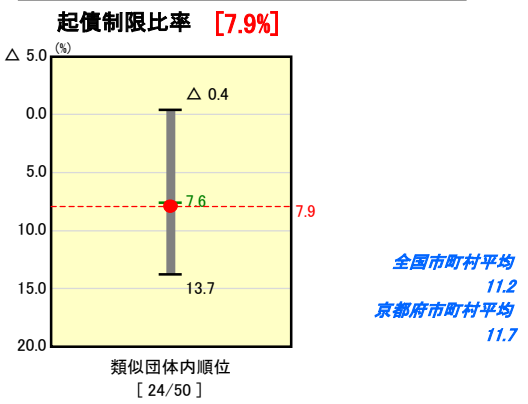


### 給与水準の適正度(国との比較)

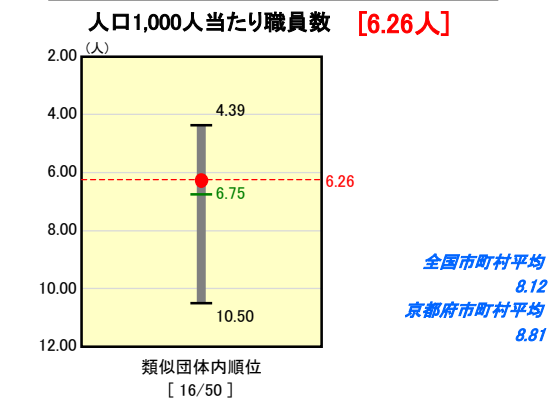


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

**【財政力指数】**  
関西文化学術研究都市開発の進展に伴う著しい人口の増加により、地方税収入が増加したことから、財政力指数は類似団体平均より高い水準にある。しかし一方で、開発に係る都市基盤整備に多額の経費を必要とするため、現在の財政運営自体は非常に苦しい状況である。

**【経常収支比率】**  
表面上、類似団体平均を僅かに下回るが、過去の「宅地開発又は住宅建設」に関連する便利施設の建設及び公共施設の整備に関する了解事項(五省協定)に該当する債務負担行為支出額を含めた数値は91.2となり、類似団体平均を上回る。今後も都市基盤整備に係る大規模事業の実施による公債費等の増加が予想され、経常収支比率が追いつかない状況にある。

**【起債制限比率】**  
表面上、類似団体平均を僅かに上回るにとどまるが、債務負担行為における支出等を含めると、実質的には非常に高い比率である。今後の地方債発行について、償還計画も含め総合的に検討する。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体平均を僅かに下回っているが、債務負担行為に係る支出を含めると非常に厳しい状況である。大規模な都市基盤整備等が完了し、その公債費負担に一定の整理がつけば、経常収支比率及び起債制限比率も含め大幅なる改善ができるものと考えられる。

**【ラスパイレズ指数】**  
類似団体平均と同程度の水準であり、現時点では財政規模・人口等に合わせた給与水準を維持しているが、昭和60年以降、学研都市開発による人口急増を見越した大量の職員採用を行っていることから、将来的に、職員高齢化による給与水準の上昇が見込まれる。今後、給与構造の抜本的な見直しとスリム化を検討する。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
学研都市開発の大規模宅地開発に伴い、若い世代の住民が増加したため、児童福祉部門の職員数が突出している状況であるが、他の部門の職員数を縮小するとともに、平成15年度から退職者不補充を実施し定員の適正化を図っている。今後、事務事業の見直しや事務の簡素化を行い、住民サービスの低下を防ぐ。